27　　愚かなのは父か息子か 　文法　反語形②

のある人がの害を心配し、猫を飼った。その後、鼠はいなくなったが、同時に鶏も猫に食べられていなくなった。そのことを心配した息子が父に問いかけた。

告㆓ゲテ 其ノ 父㆒ニ 、　　「㆑ルト去㆑ラ ヲ。」其ノ 父　、　　「吾　之　ヒハ 在㆑リテ 鼠ニ、不㆑㆑無㆑キニ 鶏。㋐夫　有㆑レバ 鼠　則チ ㆓ミ 吾ガ 食㆒ヲ、㆓ツ 吾ガ 衣㆒ヲ。①吾　㆓ 飢　寒㆒セント。②　 ㆓ 於　鶏　乎。無㆑キ 鶏　者　弗㆑レバ 食㆑ハ 鶏ヲ 則チ ム ㋑耳。去㆓ルコト 飢　寒㆒ヲ 猶ホ 遠シ。③若㆑　　而　 　㆒ 」。

語注

患＝心配する。

【原文】

告　其　父　曰、　　「蓋　去　諸。」其　父　曰、　　「吾　之　患　在　鼠、不　在　無　鶏。　夫　有　鼠　則　窃　吾　食、毀　吾　衣。吾　将　飢　寒。焉　不　病　於　無　鶏　乎。無　鶏　者　弗　食　鶏　則　已　耳。去　飢　寒　猶　遠。若　之　何　而　去　 夫　猫　也」。

問一　次の「内容わしづかみ」の空欄に本文中の漢字を書き入れよ。

趙人の息子は父に〔　　　〕を手放さない理由を尋ねた。父は〔　　　〕の害から逃れるために〔　　　〕が必要であり、〔　　　〕がいなくなっても問題はないと説明した。

問二　波線部㋐・㋑の読み方を、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。（現代仮名遣いでよい。）〈4点×2〉

㋐〔　　　　　　　　　　〕　㋑〔　　　　　　　　　　〕

問三　チェック問題　反語形②

⑴　次の表を完成させよ。〈1点×3〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 如（奈・若）㆓㆒何セン | | 必ズシモ ～〔セ〕ン（ヤ） | | 何 （胡為・奚為）～〔セ〕ン（ヤ） | |
|  | ～を如何せん |  | 何ぞ必ずしも～〔せ〕ん（や） | どうして～か、いや～ない。 |  |

⑵　次の文を、現代語訳せよ。 〈2点×2〉

1　吾　豈ニ 望㆑マン 生ヲ 邪。 （晋書）

2　王　何ゾ 必ズシモ ㆑ハンヤ 利ト。 （孟子）

1〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

2〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問四　傍線部①とあるが、そうなるのはなぜか。二十字以内で答えよ。 〈12点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問五 傍線部②を現代語訳せよ。 〈7点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

問六 傍線部③を書き下し文にせよ。 〈6点〉

〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（。」と。）〕

問七 この話は父親のどのような点を愚かなこととしているのか。最も適当なものを選べ。 〈10点〉

ア　鼠のせいで飢えてしまうのを心配していながら、生きるのに必要な鶏がいないことを問題としなかった点。

イ　小さな損害を気にするあまり、家族が大切にかわいがっている鶏を犠牲にしてしまった点。

ウ　父親としての威厳を保とうとして、息子の言葉の意味を理解しようとせず、軽視してしまった点。

エ　鼠を撃退した猫への褒美として、家族が食べる物までも与えてしまった点。

〔　　　〕

【解答】

問一　猫　鼠　猫　鶏

問二　㋐＝それ　㋑＝のみ〈4点×2〉

問三　⑴　〈1点×3〉

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 如（奈・若）㆓㆒何セン | | 必ズシモ ～〔セ〕ン（ヤ） | | 何 （胡為・奚為）～〔セ〕ン（ヤ） | |
| ～をどうしようか、いやどうすることも  できない。 | ～を如何せん | どうして～する必要があろうか、いやない。 | 何ぞ必ずしも～〔せ〕ん（や） | どうして～か、いや～ない。 | 何為れぞ～〔せ〕ん（や） |

⑵　１＝私はどうして生きることを望もうか、いや望みはしない。〈2点×2〉

　　　２＝王はどうして利益を言う必要がありましょうか、いやありません。

問四　鼠が食べ物を盗み、衣服に穴を開けるから。（20字）〈12点〉

問五　これ〔＝飢え凍えること〕はどうして鶏がいないことよりも心配しないだろうか、いや心配する。〈7点〉

問六　之を若何ぞその猫を去らんや（。」と。）　〈6点〉

問七　ア〈10点〉

【現代語訳】

　その父に告げて言うには、「どうしてこれ〔＝猫〕を手放さないのか。」と。その父が言うには、「私の心配は鼠にあって、鶏がいないことにない。そもそも鼠がいれば私の食事を盗み、私の服に穴を開ける。（だから）きっと私は飢え、凍えることとなる。（そうであれば）これ〔＝鼠によって餓死すること〕は鶏のいないことより心配でないことがあろうか、いや心配である。鶏がいない者は鶏を食べなければことが終わるだけのことだ。（鶏がいても鼠がいるのでは）飢え凍えることを取り除くことは難しい。（だから）どうして猫を去らせることがあろうか、いやその猫を去らせることはない。」と。

【書き下し文】

のにげてはく、「ぞをらざる。」と。のはく、「のひはにりて、きにらず。れればちがをみ、がをつ。にせんとす。はきよりもへざらんや。きをはざればちむのみ。をることほし。をぞのをらんや。」と。

【補充問題】

問１　「蓋去諸。」（１行目）を書き下し文にせよ。

問２　「蓋去諸。」（１行目）に対し、父はどのように答えたか。最も適当なものを選べ。

ア　猫を去らせることは、命を危険にさらすことだからすべきではない。

イ　たとえ衣食を損なうことになろうとも、猫を去らせるべきではない。

ウ　功績のある猫を去らせることは、道義に反する行いだからすべきではない。

エ　自分たちに対して何も悪い行いをしていない猫を、去らせるべきではない。

問３　「吾之患在鼠、不在無鶏。」（１～２行目）とはどういうことか。最も適当なものを選べ。

ア　私の心配は鼠にあって、鶏がいないことにない。

イ　私の悩みは鼠のせいであり、また特に鶏のせいでもある。

ウ　私の病気は鼠がいたからで、鶏がいたからではない。

エ　私の不安は鼠のためであるが、鶏のためでないこともない。

【補充問題解答】

問１　蓋ぞ諸を去らざる。（」と。）

問２　ア

問３　ア